

Warm-up

アルファベット・単語

【主な学習内容】

◆指導ページ P.2～9◆

◎アルファベットを板書暗唱し、大文字・小文字を正確に書けるようにする。

◎身の回りにある単語について、発音・アクセントにも注意して、読んだり書いたりする練習を重ねる。

学習内容	補足・留意事項など
<p>1 アルファベット</p> <p>① アルファベットには大文字と小文字が26個ずつあることを説明する。 ② アルファベットを1字1字発音練習させ、A(a)～Z(z)まで暗唱できるような練習をさせる。 ③ 書体には「活字体」「ブロック体」「筆記体」があり、ていねいに書くための書体である「ブロック体」を練習し、習得することが大前提となる。大文字から小文字の順で書く練習をさせる。</p> <p>2 アルファベットの書き方と読み方</p> <p>※ ブロック体の小文字の導入 ① 2階建て…b・d・f・h・k・l ② 1階建て…a・c・e・i・m・n・o・r・s・t・u・v・w・x・z ③ 地下室付き…g・j・p・q・y →黒板に線を引いて間違いやすいものを書いてみせる。正しく書けるように似たような文字に注意するよう指導する。 →似たような文字の例 [b・d] [p・q] [m・n] [a・u] [h・n・r]</p> <p>3 単語</p> <p>※ 量的なことから判断して、2ページずつを1単位として練習させるとよい。 手順①…まず1語ずつ発音の手本を示し、それをまねして反復させるという形で発音練習をする。 手順②…一通りの発音練習をすませたあとで、それぞれ単語をブロック体で書く練習をさせる。 手順③…アクセントに注意させる。特に、カタカナ言葉(外来語)として知っている英単語には日本語で話す場合とはアクセントの位置が違うものがあるので注意させる必要がある。</p> <p>① 本と文房具, 身につけるもの, 動物 ※ 「notebook」の発音に注意。 ※ 「bag」「cap」「cat」と「watch」の発音の違いに注意。 ※ 「bird」の発音に注意。</p> <p>② 食べるもの, 家族と人 ※ 「orange」と「banana」のアクセントに注意。 ※ 「cake」の発音に注意。「apple」や「watch」などと同じ文字なのにそれぞれ発音が違うことにも注意。 ※ 「father」「mother」「brother」「sister」の語尾のつづりがerで同じであることにも注意。 ※ fatherとmotherの第1母音の発音が同じにならないように注意。</p> <p>③ 建物, 乗り物, 数, スポーツに関するもの ※ 「school」と「book」の発音の違いに注意。 ※ 「library」の発音に注意。 ※ 数は1から10まで暗唱できるようにさせたい。 ※ スポーツはカタカナ言葉(外来語)として定着しているものが多いので、正しい発音に気をつけさせる。</p> <p>④ 職業に関するもの, 教科に関するもの ※ 「Japanese」のアクセントに注意。</p>	<p>◎ブロック体のa, g, tは活字体と形が異なる</p>

1

英語の書き方・あいさつ表現

【主な学習内容】

◆指導ページ P.10～15◆

- ◎英文を書く上でのルールを理解し、正しい英文が書けるようにする。
- ◎日常的に用いられる英語でのあいさつの表現を理解し、その言葉を言えるようにする。

学習内容	補足・留意事項など
<p>1 英文の書き方</p> <p>※ 英語の文を書くときに守るきまりを学習させる。</p> <p>①すべての文の最初の文字は大文字にする。</p> <p>②文中では単語と単語の間を1字分ほどあける。</p> <p>③ふつうの文の文末にはピリオド(.), 疑問文の文末には疑問符(?)をつける。</p> <p>④答え方の Yes/No の直後には、コンマ(,)をつけて区切る。</p> <p>⑤文中のどこでも人名、国名、地名の最初の文字は大文字にする。</p> <p>⑥短縮形では省略した文字の部分にアポストロフィ(')をつける。</p> <p>2 あいさつ表現</p> <p>※ 朝・午前中、午後、夕方・夜、寝る前のあいさつの表現を練習させる。</p> <p>手順①…まず、意味を説明する。</p> <p>手順②…読み方の手本を示す。</p> <p>手順③…生徒たちに発音させる。</p> <p>手順④…敬称の使い方を説明し、生徒たちにペアを組ませて対話練習させる。</p> <p>※ evening は日本語で「夕方」と訳すが、欧米では evening は日暮れから夜の9時ぐらいまでをいう。</p> <p>時間的な感覚のずれに注意も必要。</p> <p>3 親しい仲でのあいさつ・4 健康状態を気づかう言い方</p> <p>※ 「Hello.」と「Hi.」は、1日のうちいつでも使えるあいさつの言葉として理解させる。</p> <p>※ テキストにあるように対話形式で練習させるとよい。</p> <p>5 初対面の人に会ったときのあいさつ・6 別れのあいさつ・7 お礼を言うとき</p> <p>※ 別れにもいろいろな場面があるので、別れの表現にもいろいろある。</p> <p>① Goodbye. / See you. / See you later. →すぐまた会う人へのさようなら</p> <p>② See you tomorrow. →次に会う日時がわかっていて別れるときのさようなら</p> <p>③ See you again. →すぐに会うことのない人へのさようなら</p> <p>④ It was nice meeting you. →初対面の人とのさようなら</p> <p>8 教室で使う英語</p> <p>※ これらの文の前か、または後に「please」という言葉をつけると、「どうぞ～してください」という丁寧な言い方になることを教えてもよい。</p>	<p>・「～さん」, 「～先生」の言い方</p> <p>「Mr.」…男性の姓・姓名の前につける。</p> <p>「Mrs.」…結婚している女性の姓・姓名の前につける。</p> <p>「Ms.」…すべての女性に使うことができる。</p>

2

I am ~ . You are ~ .

【主な学習内容】

◆指導ページ P.16 ~ 21 ◆

- ◎主語の違いによる am / are の使い分けを学習する。 ◎名詞の分類を導入して、a / an の意味と用法を習得する。
- ◎否定文(I am not ~ . / You are not ~ .)と、疑問文(Are you ~ ?)について学習する。

学習内容	補足・留意事項など
<p>① I am ~ . の言い方・② You are ~ . の言い方</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 主語が「I」のとき→〈I am ~ .〉…「私は～です。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は真理です。→ I am Mari. ・私はトムです。→ I am Tom. <p>☆ 主語が「You」のとき→〈You are ~ .〉…「あなたは～です。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたはアンです。→ You are Ann. ・あなたは恵子です。→ You are Keiko. </div> <p>◎注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文中でも人名や地名の最初の文字と「I」は大文字で書き、「i」とは書かない。 <p>◎関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I am の短縮形は I'm, You are の短縮形は You're と表す。 ・「I」は「1人称」, 「You」は「2人称」という。 	<p>◎短縮形は1語扱い!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I am Tom. = <u>I'm</u> Tom. ・You are Keiko. = <u>You're</u> Keiko
<p>③ a と an</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ a / an の意味…「1つの」という意味で、日本語には訳さないことが多い。</p> <p>☆ 数えられる名詞の場合→名詞の直前に a / an をつける。 数えられない名詞の場合→名詞の直前に a / an はつけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は学生です。→ I am a student. ・あなたは英語の先生です。→ You are an English teacher. <p>☆ a / an の使い分け</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 次にくる語が母音ではないとき→ a boy / a table / a Japanese(日本人) ② 次にくる語が母音(ア, イ, ウ, エ, オの音に近い音)のとき → an egg / an apple / an American(アメリカ人) </div> <p>◎注意 固有名詞に冠詞は不要! …1つだけしか存在しないものに「1つの」はいらない。 固有名詞 = 人名や地名など→(×)a Jack / (×)a Japan(日本)</p>	
<p>④ I am not ~ . の言い方・⑤ You are not ~ . の言い方</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 「私は(あなたは)～ではありません」という否定文の作り方→「～でない」という意味の「not」を使う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 主語が「I」のとき→〈I am[I'm] not ~ .〉(私は～ではありません。) ② 主語が「You」のとき→〈You are[You're] not ~ .〉(あなたは～ではありません。) <ul style="list-style-type: none"> ・私は先生です。→ I am a teacher. ・私は先生ではありません。→ I'm <u>not</u> a teacher. ・あなたは京都出身です。→ You are from Kyoto. ・あなたは京都出身ではありません。→ You're <u>not</u> from Kyoto. </div> <p>◎関連 短縮形を使う</p> <ol style="list-style-type: none"> ① am not → 存在せず(amn't にはならない) ② are not → aren't(1語扱い) You <u>aren't</u> from Kyoto. 	
<p>⑥ Are you ~ ? の言い方・⑦ Are you ~ ? に対する答え方</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 「あなたは～ですか。」という疑問文の作り方→ are を you の前に置く。</p> <p>※ 主語が「you」のとき→〈Are you ~ ?〉(あなたは～ですか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは英語の先生です。→ You are an English teacher. ・あなたは英語の先生ですか。→ Are you an English teacher? <p>☆ 「あなたは～ですか。」という疑問文の答え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はい、そうです。→ Yes, I am.(この I am は短縮形にできない。) ・いいえ、違います。→ No, I am not.(この I am は短縮形にできる。→ No, I'm not.) </div>	<p>◎文の読み方</p> <p>→通常の疑問文では、文の終わりを上げ調子(↗)で読む。</p>

3

This is ~ . That is ~ .

【主な学習内容】

◆指導ページ P.22 ~ 27 ◆

- ◎主語の違いによる am / are / is の使い分けを学習する。
- ◎「This / That」が主語となる疑問文の答え方に注意する。

学習内容	補足・留意事項など
<p>1 This is ~ . の言い方 ・ 2 That is ~ . の言い方</p> <p>☆ 主語が「This」のとき→〈This is ~ .〉…「これは～です。」「こちらは～です。」 用法…近くにある「1つのもの」や近くにいる「1人の人」を、さし示すときなどに使う。</p> <p>☆ 主語が「That」のとき→〈That is ~ .〉…「あれは～です。」「あちらは～です。」 用法…離れたところにある「1つのもの(1人の人)」を、さし示すときなどに使う。</p> <p>関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ではさし示すものが「1つ」であるときは「a / an」を使う。 ・That is a desk. = <u>That's</u> a desk. (※ This is の短縮形はない) <p>3 my と your</p> <p>☆ 「my」…「私の、僕の」、 「your」…「あなたの、きみの」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これは私の本です。→ This is my book. ・あれはあなたの宿題です。→ That is your homework. <p>関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の名前は由美です。→ <u>My name</u> is Yumi. <p>4 This is not ~ . と That is not ~ .</p> <p>☆ 「これは(あれは)～ではありません」という否定文の作り方→「～でない」という意味の「not」を使う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 主語が「This」のとき→〈This is not ~ .〉…「これは～ではありません。」 ② 主語が「That」のとき→〈That is not ~ .〉…「あれは～ではありません。」 <ul style="list-style-type: none"> ・これはギターではありません。→ This is not a guitar. ・あれはトムの自転車ではありません。→ That is not Tom's bike. <p>関連 短縮形を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・is not → isn't(1語扱い) That <u>isn't</u> Tom's bike. <p>5 Is this ~ ? と Is that ~ ? ・ 6 Is this[that] ~ ? に対する答え方</p> <p>☆ 「これは(あれは)～ですか。」という疑問文の作り方→ is を this の前に置く。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 主語が「this」のとき→〈Is this ~ ?〉…「これは～ですか。」 ② 主語が「that」のとき→〈Is that ~ ?〉…「あれは～ですか。」 <ul style="list-style-type: none"> ・これはあなたの猫ですか。→ Is this your cat? ・あれは私のケーキですか。→ Is that my cake? <p>☆ 「これは(あれは)～ですか。」という疑問文の答え方→「this / that」のかわりに「it」(それ)を使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はい、そうです。→ Yes, it is.(この it is は短縮形にできない。) ・いいえ、違います。→ No, it is not. <p>関連 短縮形を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No, <u>it's</u> not.(it is を短縮形にしたとき) ・No, it <u>isn't</u>.(is not を短縮形にしたとき) <p>7 英語の符号のいろいろ</p> <p>☆ 本文中に使われるいろいろな符号</p> <ol style="list-style-type: none"> ① (.)ピリオド…文末につける。 ② (?)クエスチョンマーク…疑問文の文末につける。 ③ (,)コンマ… Yes / No の直後につける。 ④ (')アポストロフィ… That's や isn't のように短縮したしるしとしてつける。 「～の」という所有を表す場合にも使われる。→ Ken's sister(ケンの妹) 	<p>●文の読み方 →通常の疑問文では、文の終わりを上げ調子(↗)で読む。</p>

4

I have ~ . Do you have ~ ?

【主な学習内容】

◆指導ページ P.28 ~ 33 ◆

◎動詞が一般動詞で、主語が「I / You」の文のつくり方について学習する。

◎否定文と疑問文について、動詞が一般動詞の場合と、is, am, are の場合との違いを明らかにしつつ学習する。

学習内容	補足・留意事項など
<p>① I have ~ . の言い方 ・ ② You have ~ . の言い方 ・ ③ I like ~ . と I play ~ . の言い方</p> <p>④ You like ~ . と You play ~ . の言い方</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 主語が「I」のとき→〈I have ~ .〉…「私は～を持っています。」</p> <p>☆ 主語が「You」のとき→〈You have ~ .〉…「あなたは～を持っています。」</p> <p>・ have のあとに「～を」にあたる単語を入れる。単数・複数はどちらでも可。</p> <p>☆ 主語が「I」のとき→〈I like ~ .〉…「私は～が好きです。」</p> <p>☆ 主語が「You」のとき→〈You like ~ .〉…「あなたは～が好きです。」</p> <p>☆ 主語が「I」のとき→〈I play ~ .〉…「私は～をします。」</p> <p>☆ 主語が「You」のとき→〈You play ~ .〉…「あなたは～をします。」</p> <p>・ 〈play the 楽器名〉→「～を演奏する」という意味を表す。 私はギターを弾きます。→ I play the guitar.</p> </div>	
<p>⑤ I do not have ~ . と You do not have ~ .</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 「私は～を持っていません。」という否定文の作り方→動詞 have の前に do not を置く。</p> <p>[ふつうの文]…私は本を持っています。→ I have a book.</p> <p>[否定文]…私は本を持っていません。→ I do not have a book.</p> </div> <p>●do not は don't の形で短縮して使うことができ、1語として使う。</p> <p>●文の読み方 →通常の疑問文では、文の終わりを上げ調子(↗)で読む。</p> <p>●関連 ・動詞 like や play の否定文も、その動詞の前に do not[don't]を置く。</p>	
<p>⑥ Do you have ~ ?</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆ 「あなたは～を持っていますか。」という疑問文の作り方→主語 You の前に Do を置く。</p> <p>[ふつうの文]…あなたはカメラを持っています。→ You have a camera.</p> <p>[否定文]…あなたはカメラを持っていますか。→ Do you have a camera?</p> <p>☆ Do you have ~ ? という疑問文に対する答え方</p> <p>・持っているなら→ Yes, I do.(はい, 持っています。)</p> <p>・持っていなければ→ No, I don't.(いいえ, 持っていません。)</p> </div> <p>●関連 ・「あなたは～か。」と聞かれているので、答えるときは「私は～」となる I を使う。</p>	